

# 運命のプロジェクト



くずまき高原牧場

## 北上山系開発事業

町の畜産の大きな転機は昭和44年、国の全国総合開発計

画の大規模畜産開発プロジェクト地区に「北上山系地域」が選ばれたことから始まりま


す。町は、この計画を受け45年に町北上山系開発促進協議会を設置、50年には、農用地開発公社の葛巻事業所が置かれ、いよいよ北上山系開発事業に着手。8年の歳月と14億5千万円の巨費が投入され草地の造成や道路を整備、57年に完工しました。この間、51年に土谷川・袖山・上外川の各団地を管理運営する(社)葛巻町畜産開発公社を設立。ほ

育、搾乳、肥育、採草などの各部門を結びつけた機能分担方式による大規模畜産団地が形成されました。人口より牛の数が多く、東北一の酪農の町として知られるようになりました。現在、くずまき高原牧場には、酪農体験を中心年間30万人を超える人が県内外から訪れています。

**祝35周年**  
**(社)葛巻町畜産開発公社**  
 (昭和51年3月30日創立)

夏期放牧事業、飼料生産事業、哺育・育成事業、肥育事業、展示搾乳牧場事業、ふれあい交流事業、レストハウス袖山高原事業、乳製品製造事業、山地酪農研修センター管理運営など事業展開。


体験学習に力を入れ「スノーワンダーランド」は今年で10年目。「スターワンダーランド」「サマーワンダーランド」など次々に展開している。春からスタートした幼児がさまざまな体験学習を行う「森のようちえん」は、応募者が殺到し、キャンセル待ちが続いている。



**祝25周年**  
**葛巻高原食品加工(株)**  
 (昭和61年2月14日創立)

厳選された山ぶどうを使ったワインを製造販売し、健康志向や自然食品ブームを背景に売り上げを伸ばしている。ワインパーティーを町内外で企画し、愛好者を着実に増やし、国産ワインコンクールでは、銀賞、銅賞を連続受賞している。

森のこだま館を管理運営し、地産地消のレストランが好評。体験コーナーも充実し、蒸留酒(ブランデー)づくりもできる。




葛巻高原食品加工(株)

## 都市との交流と新エネルギー

平成に入り、宿泊施設グリーンテージや総合運動公園の整備を進め、都市との交流の取り組みを始めました。地域資源の価値を高める企業誘致など、雇用創出と地域の活性化に努めました。

平成11年3月、町の地域資源を生かし、基幹産業である農林業の振興、生活環境の向上および環境問題の観点から、環境負荷の小さい新エネル

ギーの積極的な導入を図るため、「葛巻町新エネルギービジョン」を策定しました。

葛巻の自然はただ単に与えられたものではなく、先人たちが努力して築き上げてきたものであり、これをできるだけすばらしい姿で次の世代に引き継いでいくことが我々の責務であるとの考えからです。

同年6月には、袖山高原に3基の風車が完成。風車が比較的短期間で導入できた理由として、①一年を通じて恒常的に風が吹いていたこと②風車建設に必要な資機材を運ぶ

ための道路があったこと③発電した電力を送るための送電線があったことでした。これは、北上山系開発事業による恩恵でもありました。

現在、町が導入促進を図り構築したエネルギー施設は、風力発電施設15基、太陽光発電施設、畜産・木質バイオマス発電施設など多種多様にとなっています。

第三セクターと食糧、環境、エネルギーへの取り組みが相乗効果となり、地域経済の活性化、若者の定着につながることも、このことが広く全国で紹介されるようになります。来町者が著しく増えるなど、町民が自信と誇りを持つようになりました。

## 町に特産品を

### ワインづくりへ

61年、町や各団体、個人が出資して葛巻高原食品加工(株)を設立。きのこ、山ぶどうなどを加工して、付加価値のある産品を振興するための山菜工場が62年8月から63年9月には山ぶどうワイン工場が操業を開始しました。これにより「生産加工・流通」の基盤を整備し、活力ある地域産業の振興を図りました。現在、26種のワインを醸造する県内屈指のワイナリーとしての地位を築いています。

## 自立するまちづくり

平成14年12月議会において当時の中村哲雄町長は、「合併しないで当面自立の道を歩むという選択が、住民の大方の意見であると判断している」と表明しました。その後、職員数や地方債残高の削減など、積極的に行政改革を進め、自立可能な財政構造の構築に努めてきました。

平成19年8月に就任した鈴木重男町長は、「自立する町づくりを目指し、葛巻の明るい未来のために、共に歩み続けたい」と議会で表明。交流人口の拡大とともに、Uターン・イターンなど定住促進対策を進めています。

町の歴史を振り返り、「先人のたゆまぬ努力」に敬意と感謝を捧げ、「住み続けたい町」「誇りを持てる町」と思える夢のあるまちづくりに向け、新たな出発(たびだち)の一步を踏み出しましょう。

## 持続可能な協働のまちづくり



上外川にそびえる12基の風車



町の未来を担う多くの子どもたちが参加した町植樹祭

22年	21年	20年	19年	18年	17年	15年	14年	13年	12年	11年	10年	9年	8年	7年	6年	5年	4年	3年	2年	元年	平成	63年	62年	61年	60年	59年	58年	57年	55年	53年	51年	50年															
葛巻保育園で認定こども園スタート	大賞受賞 県高文祭で葛巻高校郷土芸能部最優秀賞に輝く ふるさとCM大賞で「絆力」が大賞受賞	葛巻町畜産開発公社が日本農業大賞受賞 葛巻町森林組合が山村力(やまぢから)コンクール林野庁長官賞受賞	地域情報化基盤整備事業スタート まちなかで春夏秋冬のイベント開催	被害総額40億円の豪雨災害 葛巻町ふるさとづくり基金スタート	トリプル薪フェスタ・森林の恵みフォーラム開催 葛巻町畜産開発公社が日本農業大賞受賞	上外川「グリーンパークくずまき風力発電所」稼働 町消防団創立100周年 新エネ大賞(資源エネルギー庁長官賞)受賞	被褥総額40億円の豪雨災害 葛巻町ふるさとづくり基金スタート	精神障害者作業施設「すずらん工房」開所 葛巻地区中高一貫教育スタート 第一回俳句コンテスト開催	くずまき高原牧場4施設完成 (チーズハウス、パンハウス、むく木ドーム、畜産バイオカスプラント)	上外川「グリーンパークくずまき風力発電所」稼働	袖山高原風力発電所稼働 葛巻中学校校舎、太陽光発電設備完成	全国風サミット開催 精神障害者作業施設「すずらん工房」開所	葛巻地区中高一貫教育スタート 第一回俳句コンテスト開催	くずまき高原牧場4施設完成 (チーズハウス、パンハウス、むく木ドーム、畜産バイオカスプラント)	上外川「グリーンパークくずまき風力発電所」稼働	町消防団創立100周年 新エネ大賞(資源エネルギー庁長官賞)受賞	被害総額40億円の豪雨災害 葛巻町ふるさとづくり基金スタート	トリプル薪フェスタ・森林の恵みフォーラム開催 葛巻町畜産開発公社が日本農業大賞受賞	地域情報化基盤整備事業スタート まちなかで春夏秋冬のイベント開催	葛巻町畜産開発公社設立 田部地区の山林火災で自衛隊出動要請(127名犠牲)	降霜と冷害で大凶作 社会体育館完成	山地酪農研修センター開設 低湿日照不足で大雪害 乳児死亡ゼロを達成	葛巻町農協、江刈農協合併 北上山系開発事業完成	北海道三石町・新潟県能生町・福井県大野市・兵庫県南淡町と「友好の契り」を結ぶ 山ぶどうの栽培始まる	保健センター・老人福祉センター完成	葛巻高原食品加工(株)設立 山菜加工・山ぶどうワイン工場完成	山ぶどうワイン発売	森の館ウッドイ完成 沖繩県北中城村と姉妹町村となる	特別養護老人ホーム「高砂荘」完成	高梨乳業株・岩手工場操業開始 葛巻乳業さと会設立	乳牛導入百周年を迎える 南信濃物産博覧会開催 ふれあい交流センター(総合運動公園)グリーンテージ完成	星野、打田内地区で大雨災害 激甚災害の指定となる 町消防団、日本消防協会特別表彰「まことい」を受賞	新役場庁舎・総合センター完成 北上山系開発事業着工 町民憲章推進協議会が発足 町民憲章・町民歌・町のシンボル制定	葛巻町畜産開発公社設立 田部地区の山林火災で自衛隊出動要請(127名犠牲)	降霜と冷害で大凶作 社会体育館完成	山地酪農研修センター開設 低湿日照不足で大雪害 乳児死亡ゼロを達成	葛巻町農協、江刈農協合併 北上山系開発事業完成	北海道三石町・新潟県能生町・福井県大野市・兵庫県南淡町と「友好の契り」を結ぶ 山ぶどうの栽培始まる	保健センター・老人福祉センター完成	葛巻高原食品加工(株)設立 山菜加工・山ぶどうワイン工場完成	山ぶどうワイン発売	森の館ウッドイ完成 沖繩県北中城村と姉妹町村となる	特別養護老人ホーム「高砂荘」完成	高梨乳業株・岩手工場操業開始 葛巻乳業さと会設立	乳牛導入百周年を迎える 南信濃物産博覧会開催 ふれあい交流センター(総合運動公園)グリーンテージ完成	星野、打田内地区で大雨災害 激甚災害の指定となる 町消防団、日本消防協会特別表彰「まことい」を受賞	新役場庁舎・総合センター完成 北上山系開発事業着工 町民憲章推進協議会が発足 町民憲章・町民歌・町のシンボル制定